

平成26年度 第3回

受注登録企業動向調査結果報告書

<概要>

前回調査結果と同様受注量については、今回も若干の増加が見られたものの大きな変化はなし。

<今回調査の特徴>

- 受注量：輸送用機器、樹脂製品で受注増。
- 受注見通し：電気機器、樹脂製品で「増加」と「減少」に回答割れる。
- 受注単価：「上昇」、「低下」とも減少もほとんど変化なく、依然厳しい状況。
- 資金繰り：「悪化」の傾向。一般機器で「悪化」増。
- 採算状況：若干「悪化」の傾向もほぼ変化なし。
- 受注余力：「余力あり」70.1%。輸送用機器、電気機器で「余力あり」減少。

(平成26年12月末現在)

公益財団法人 京都産業21

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業の受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 285企業

業種別内訳（産業分類 中分類）

| | | | |
|-----------|------|----------|------|
| ① 鉄鋼・非鉄関係 | 35企業 | ② 金属製品関係 | 45企業 |
| ③ 一般機器関係 | 45企業 | ④ 電気機器関係 | 45企業 |
| ⑤ 輸送用機器関係 | 35企業 | ⑥ 精密機器関係 | 40企業 |
| ⑦ 樹脂製品関係 | 40企業 | | |

(3) 調査時点

平成26年12月31日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

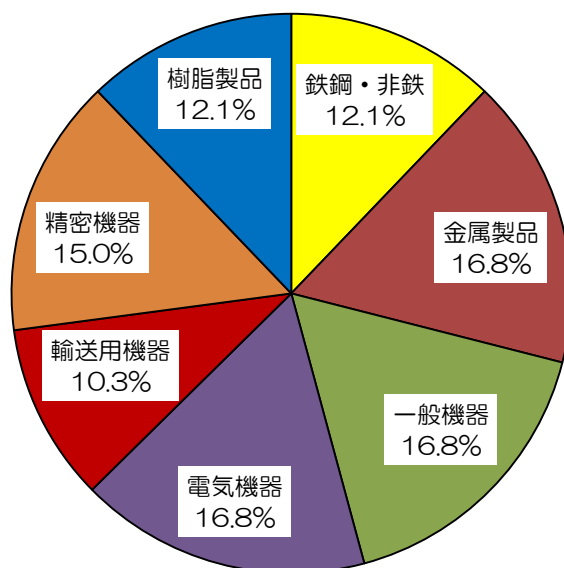
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

(5) 回収状況

| | | | |
|-----------|---------|-------|-----------|
| ① 調査対象企業数 | 285 企業 | | |
| ② 回収企業 | 214 企業 | | |
| ③ 内訳 | | | |
| | 鉄鋼・非鉄関係 | 26 企業 | (12.1%) |
| | 金属製品関係 | 36 企業 | (16.8%) |
| | 一般機器関係 | 36 企業 | (16.8%) |
| | 電気機器関係 | 36 企業 | (16.8%) |
| | 輸送用機器関係 | 22 企業 | (10.3%) |
| | 精密機器関係 | 32 企業 | (15.0%) |
| | 樹脂製品関係 | 26 企業 | (12.1%) |
| ④ 回収率 | 75.1 % | | |

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

| | 全 体 | 鉄鋼・非鉄 | 金属製品 | 一般機器 | 電気機器 | 輸送用機器 | 精密機器 | 樹脂製品 |
|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|
| 個人 | 5 2.3% | 2 7.7% | | | 1 2.8% | | 1 3.1% | 1 3.8% |
| ~300万円 | 15 7.0% | 2 7.7% | 3 8.3% | | 1 2.8% | 4 18.2% | 3 9.4% | 2 7.7% |
| 301~999万円 | 11 5.1% | 1 3.8% | 1 2.8% | 1 2.8% | 1 2.8% | 3 13.6% | 2 6.3% | 2 7.7% |
| 1000~2000万円 | 119 55.6% | 11 42.3% | 27 75.0% | 18 50.0% | 22 61.1% | 7 31.8% | 18 56.3% | 16 61.5% |
| 2001~5000万円 | 47 22.0% | 7 26.9% | 5 13.9% | 15 41.7% | 8 22.2% | 3 13.6% | 5 15.6% | 4 15.4% |
| 5000万円超 | 17 7.9% | 3 11.5% | | 2 5.6% | 3 8.3% | 5 22.7% | 3 9.4% | 1 3.8% |
| 合 計 | 214 100% | 26 100% | 36 100% | 36 100% | 36 100% | 22 100% | 32 100% | 26 100% |

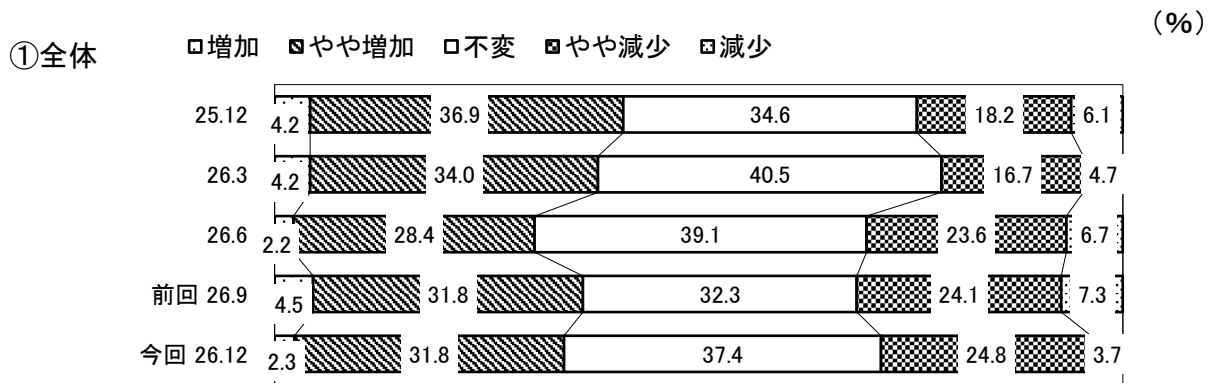
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

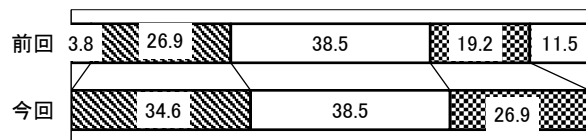
| | 全 体 | 鉄鋼・非鉄 | 金属製品 | 一般機器 | 電気機器 | 輸送用機器 | 精密機器 | 樹脂製品 |
|--------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|------------|
| 1~5人 | 22 10.3% | 8 30.8% | | 2 5.6% | 2 5.6% | 4 18.2% | 2 6.3% | 4 15.4% |
| 6~10人 | 25 11.7% | 7 26.9% | 2 5.6% | 2 5.6% | 3 8.3% | 3 13.6% | 6 18.8% | 2 7.7% |
| 11~20人 | 66 30.8% | 2 7.7% | 15 41.7% | 14 38.9% | 9 25.0% | 7 31.8% | 11 34.4% | 8 30.8% |
| 21~30人 | 28 13.1% | 3 11.5% | 10 27.8% | 6 16.7% | 4 11.1% | | 2 6.3% | 3 11.5% |
| 31~50人 | 27 12.6% | 4 15.4% | 4 11.1% | 4 11.1% | 5 13.9% | 1 4.5% | 4 12.5% | 5 19.2% |
| 51人以上 | 46 21.5% | 2 7.7% | 5 13.9% | 8 22.2% | 13 36.1% | 7 31.8% | 7 21.9% | 4 15.4% |
| 合 計 | 214 100% | 26 100% | 36 100% | 36 100% | 36 100% | 22 100% | 32 100% | 26 100% |

3. 調査結果

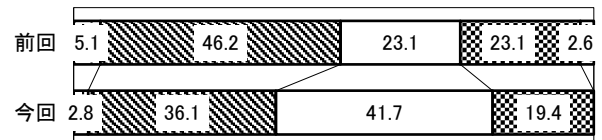
(1) 受注量について



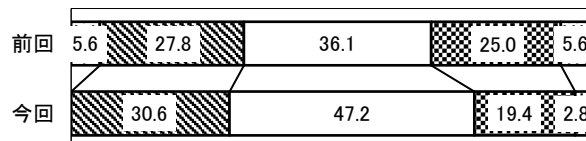
②鉄鋼・非鉄



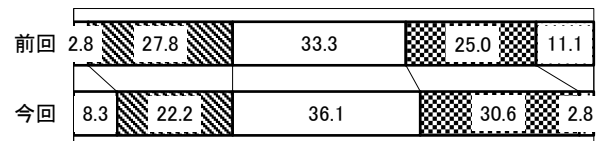
③金属製品



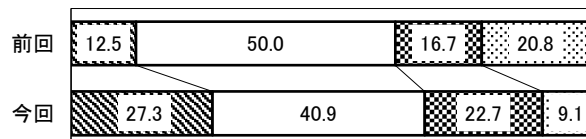
④一般機器



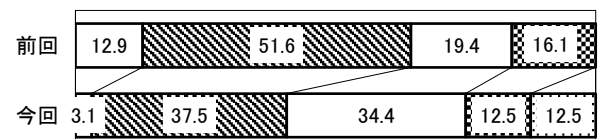
⑤電気機器



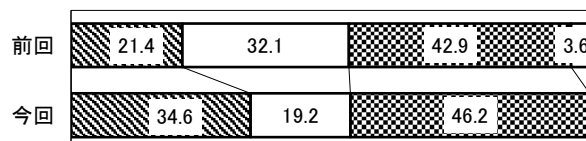
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



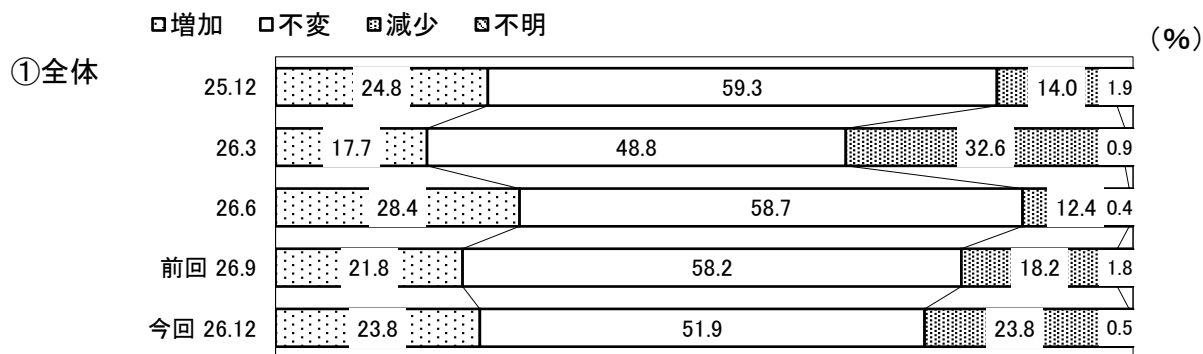
○全体

10月～12月期の全体の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は5.6となり、前期（7月～9月）に比べ0.7ポイント上昇と前回調査とほぼ変わらず、僅かながら改善の傾向となっている。

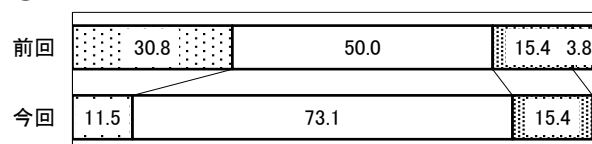
○業種別

業種別D Iでは、輸送用機器で△4.5（前期差20.5ポイント上昇）、樹脂製品でも△11.6（前期差13.5ポイント上昇）と依然としてマイナスであるが改善が見られる。一方、前回大きく増加が見られた精密機器で15.6（前期差32.8ポイント低下）と悪化傾向となっている。また、改善の見られる樹脂製品ではあるが、「減少」とする回答も前回同様半数近くを占めており、企業による差ははっきりとわかれる。

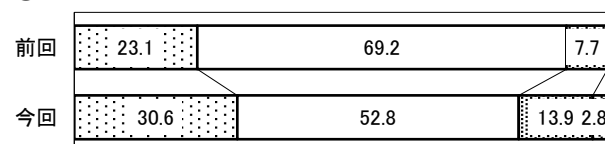
(2) 受注量の見通しについて



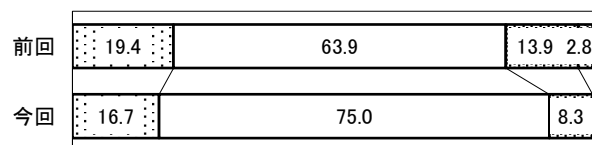
②鉄鋼・非鉄



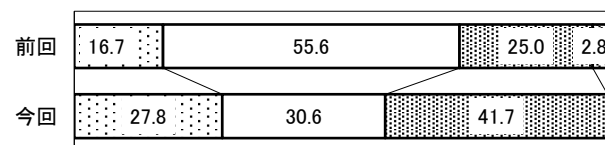
③金属製品



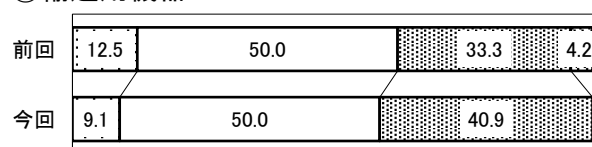
④一般機器



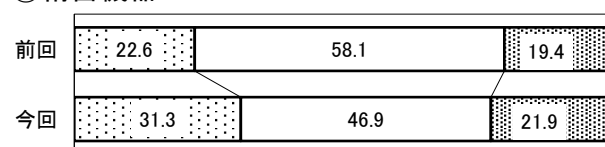
⑤電気機器



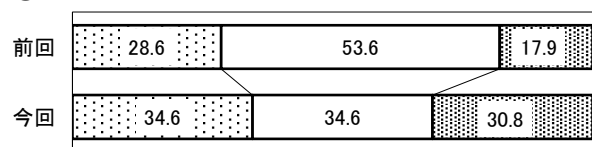
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



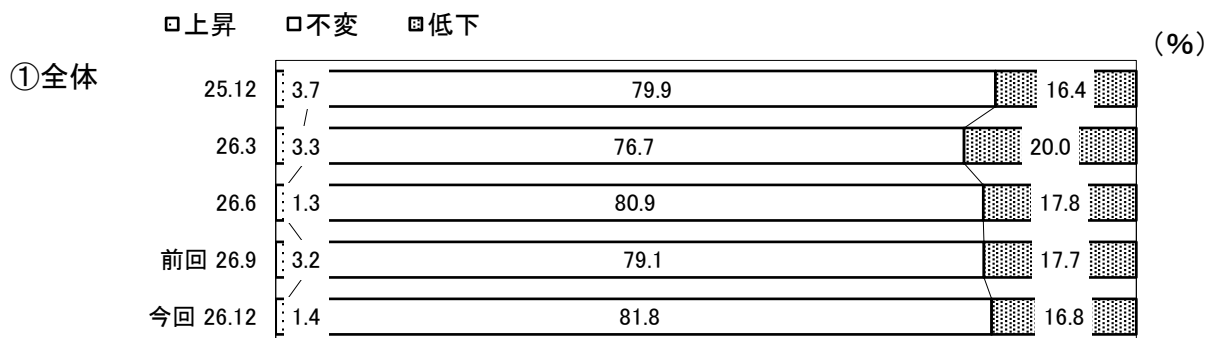
○全体

次期（1月～3月期）受注量見通しの全体の業況判断D I（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は±0となり、前回（10月～12月）に比べ3.6ポイント悪化の見通しとなっている。

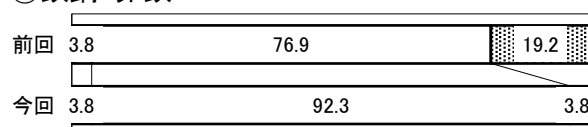
○業種別

業種別D Iは、輸送用機器が△31.8（前期差11.0ポイント低下）と悪化が目立つくらいで、他に大きな変動が見られる業種はないが、電気機器、樹脂製品では「増加」「減少」とも大きく増えており格差がつかがわれる。

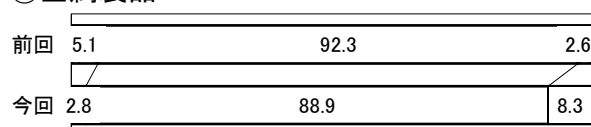
(3) 受注単価について



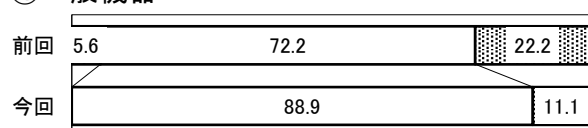
②鉄鋼・非鉄



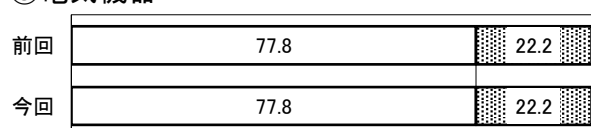
③金属製品



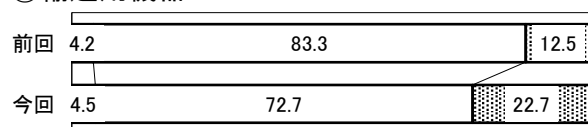
④一般機器



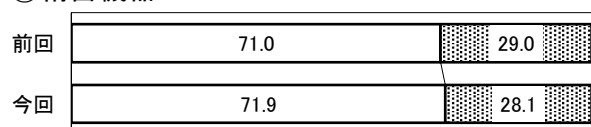
⑤電気機器



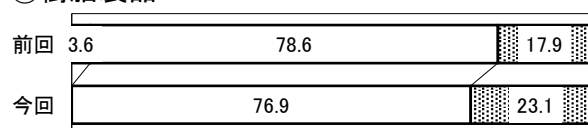
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

10月～12月期の全体の業況判断DI（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は「上昇」「低下」とも微増し、△15.4（前期差0.9ポイント低下）と前回調査結果とほぼ変わらず、依然としてマイナスの状態が続いている。

○業種別

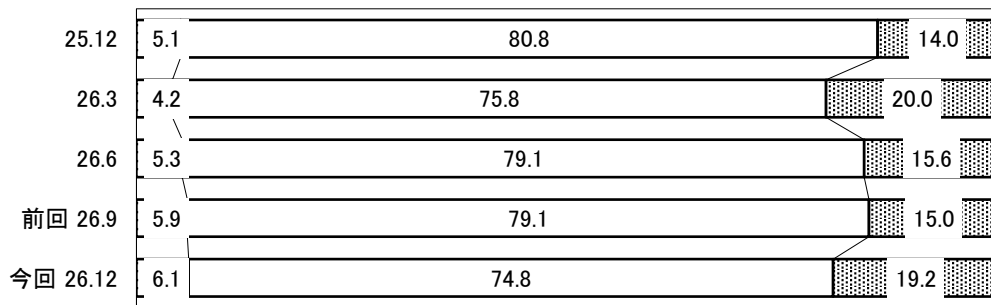
業種別DIは、「低下」が減った鉄鋼・非鉄で±0（前期差15.4ポイント上昇）と改善が見られたほかは、あまり変動は見られない。

(4) 資金繰りについて

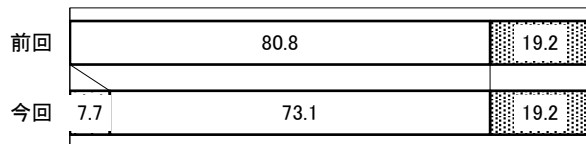
(%)

①全体

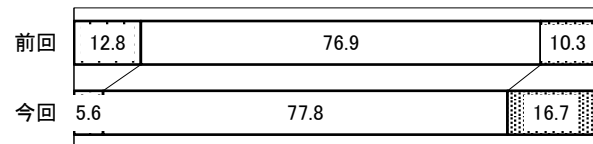
□好転 □不変 □悪化



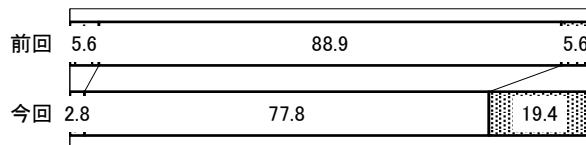
②鉄鋼・非鉄



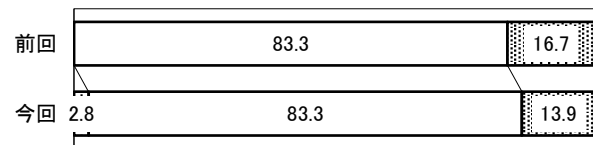
③金属製品



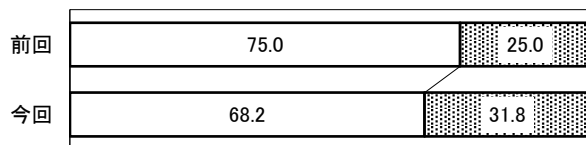
④一般機器



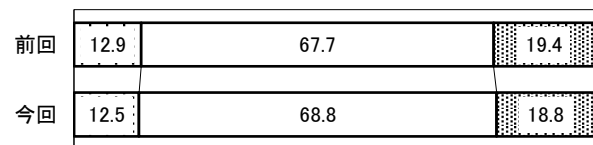
⑤電気機器



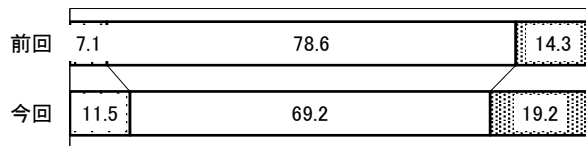
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

10月～12月期の全体の業況判断DI（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は、△13.1（前期差4.0ポイント低下）と若干の悪化傾向が見られる。

○業種別

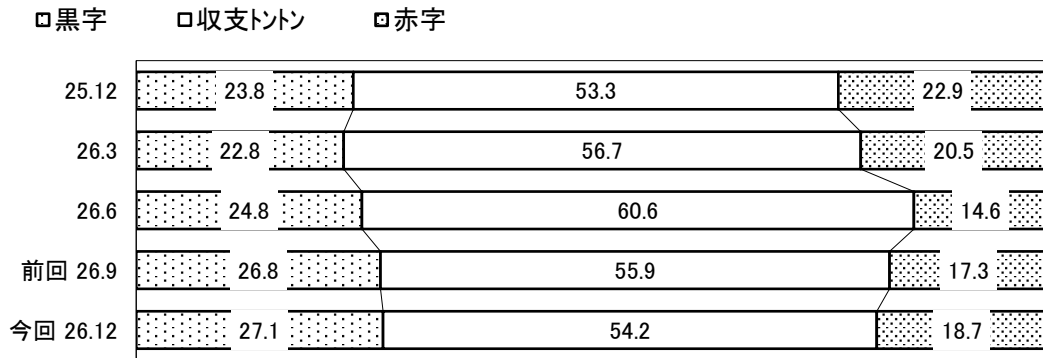
業種別DIは、金属製品で△11.1（前期差13.6ポイント低下）、一般機器で△16.6（前期差16.6ポイント低下）と悪化が見られる。

輸送用機器では、「悪化」の回答が31.8%を占め、前回調査同様最も厳しい状況である。

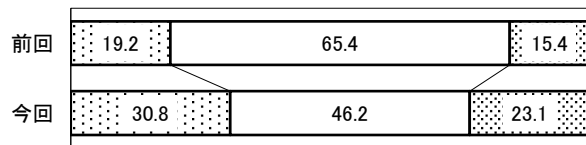
(5) 採算状況について

(%)

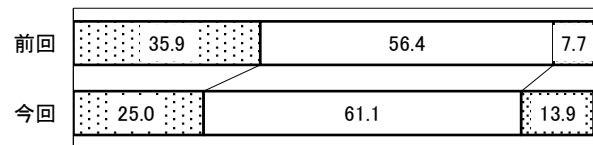
①全体



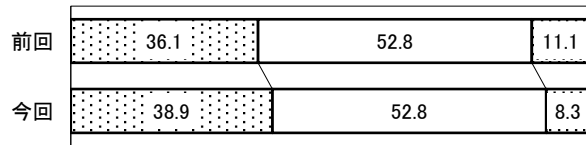
②鉄鋼・非鉄



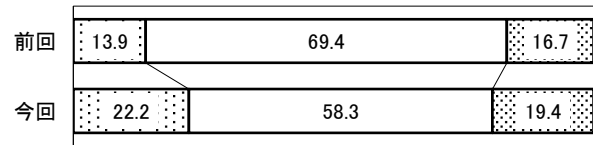
③金属製品



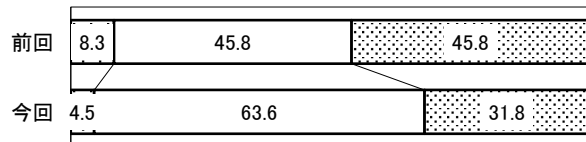
④一般機器



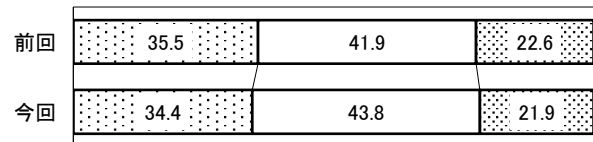
⑤電気機器



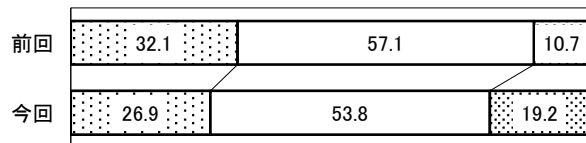
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

10月～12月期の全体の業況判断DI（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は、「黒字」「赤字」とも微増して8.4となり、前期（9～10月）に比べて1.1ポイント低下とほぼ変わらない状況となった。

○業種別

業種別DIは、輸送用機器では△27.3（前期差10.2ポイント上昇）と改善が見られるものの、「赤字」とする企業は3割超と最も多く、唯一DI値がマイナスとなっている。

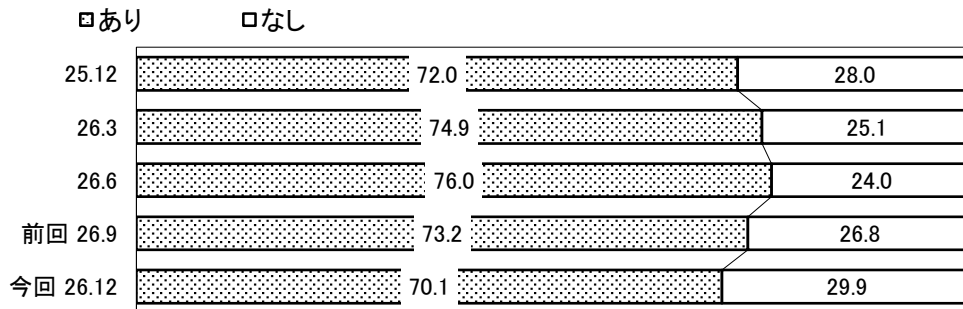
一方、金属製品で11.1（前期差17.1ポイント低下）、樹脂製品で7.7（前期差13.7ポイント低下）と悪化が見られる。

一般機器では30.6（前期差5.6ポイント上昇）と、前回同様最も高い数値となっている。

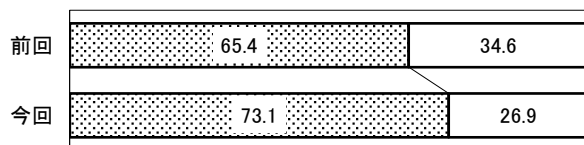
(6) 受注余力について

(%)

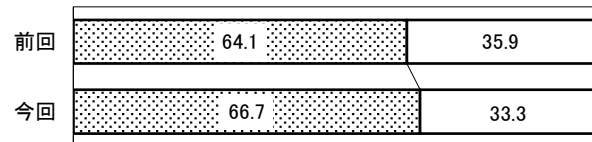
①全体



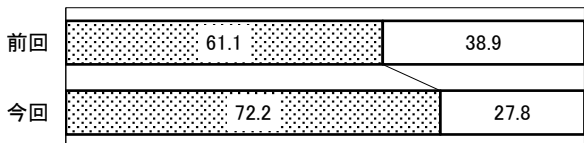
②鉄鋼・非鉄



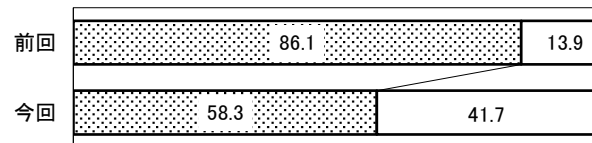
③金属製品



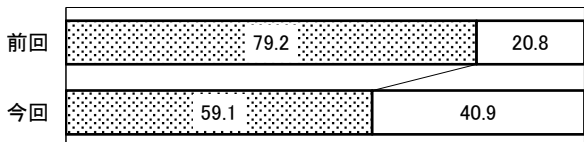
④一般機器



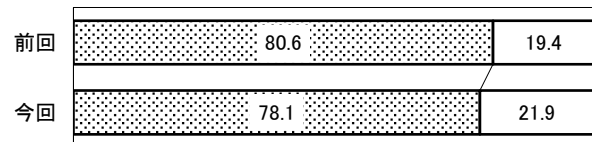
⑤電気機器



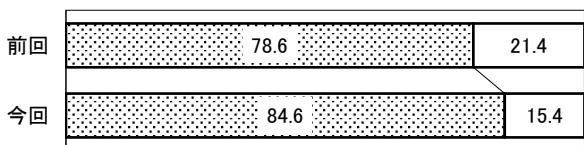
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

「受注余力あり」とする企業は減少し、70.1%と前期に比べて3.1ポイント減っている。

○業種別

受注量が増えた輸送用機器で「受注余力あり」が大きく減少したほか、電気機器でも大きく減少が見られる。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-9234 FAX (075) 315-9240
E-mail : office@ki21.jp
U R L : http://www.ki21.jp